

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-95247

(P2003-95247A)

(43) 公開日 平成15年4月3日(2003.4.3)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テームト(参考)		
B 6 5 D	5/44	B 6 5 D	5/44	G	3 E 0 0 6
	5/4805		5/40	Z	3 E 0 6 0
	21/024		5/48	R	
// B 6 5 D	5/40		21/02	3 0 3 Z	

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2001-293243(P2001-293243)

(22) 出願日 平成13年9月26日(2001.9.26)

(71) 出願人 39003509)

スケーター株式会社

大阪府大阪市生野区新今旦6丁目11番17号

(72) 発明者 鴻池 良一

奈良市香町216-1

(74) 代理人 100077791

弁理士 中野 収二

Fターム(参考) 3E006 A007 BA01 CA01 CA03 DA08

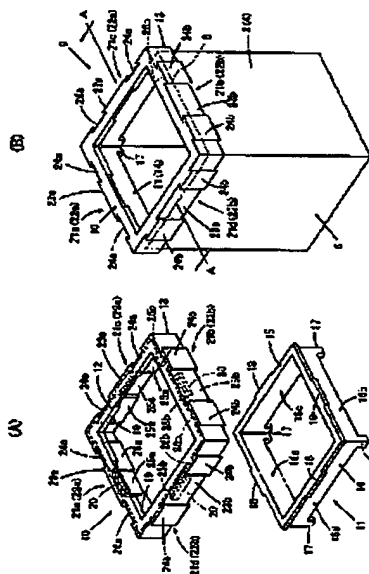
3E080 AC05 CD02 CD13 DA11

(54) 【発明の名称】 紙パック廃品利用容器における開口縁の額縁装置

## (57) 【要約】

【目的】 飲料容器として使用されている紙パックを飲料消費後に裁断切断することにより、紙パックの廃品から形成された小物入れとして利用する紙容器において、該紙容器の前記切断により形成された開口縁に装着される額縁装置を提供する。

【構成】 底壁上に周方向4面の側壁から成る周壁を備えた紙パックを裁断切断することにより、紙パックの廃品から形成した紙容器において、該紙容器の前記切断により形成された開口縁に装着される額縁装置であり、額縁装置は、外枠体と、内枠体とから構成されており、外枠体は、紙容器の開口縁を上方から覆う頂壁と、紙容器の開口縁の外周面に沿わしめられる外周壁とを一体に備え、内枠体は、紙容器の開口縁の内周面に沿わしめられる内周壁を備え、内枠体の内周壁と外枠体の外周壁とにより紙容器の開口縁を内外から挟持せしめる構成である。



BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 底壁上に周方向4面の側壁から成る周壁を備えた紙バックを裁頭切断することにより、紙バックの廃品から形成した紙容器において、該紙容器の前記切断により形成された開口縁に装着される額縁装置であり、

額縁装置9は、外枠体10と、内枠体11とから構成されており、

外枠体10は、紙容器6の開口縁8を上方から覆う頂壁12と、紙容器6の開口縁8の外周面に沿わしめられる外周壁13とを一体に備え、内枠体11は、紙容器6の開口縁8の内周面に沿わしめられる内周壁14を備え、内枠体11の内周壁14と外枠体10の外周壁13とにより紙容器6の開口縁8を内外から挟持して成り、

外枠体10の外周壁13は、紙容器6の開口縁8を含む周壁4を構成する4面の側壁3に対応する4面の壁部21a、21b、21c、21dを有し、各壁部の内側面に、紙容器6の開口縁8に密着する平坦面25a、25bと、該平坦面よりも壁部の肉厚方向に凹入する凹入部26a、26bを設けて成ることを特徴とする紙バック廃品利用容器における開口縁の額縁装置。

【請求項2】 底壁上に周方向4面の側壁から成る周壁を備えた紙バックを裁頭切断することにより、紙バックの廃品から形成した紙容器において、該紙容器の前記切断により形成された開口縁に装着される額縁装置であり、

額縁装置9は、外枠体10と、内枠体11とから構成されており、

外枠体10は、紙容器6の開口縁8を上方から覆う頂壁12と、紙容器6の開口縁8の外周面に沿わしめられる外周壁13とを一体に備え、内枠体11は、紙容器6の開口縁8の内周面に沿わしめられる内周壁14を備え、内枠体11の内周壁14と外枠体10の外周壁13とにより紙容器6の開口縁8を内外から挟持して成り、

外枠体10の外周壁13は、紙容器6の開口縁8を含む周壁を構成する4面の側壁に対応する4面の壁部21a、21b、21c、21dを有し、相対向する一対の壁部21a及び21bと21c及び21dにおける一方の壁部21a、21cの第一嵌合部22aが他方の壁部21b、21dの第二嵌合部22bに着脱自在に嵌着されるように、相対向する一対の壁部21a及び21bと21c及び21dの外面に第一嵌合部22aと第二嵌合部22bを相互に設けて成ることを特徴とする紙バック廃品利用容器における開口縁の額縁装置。

【請求項3】 第一嵌合部22aが壁部の長手方向はほぼ中央に設けられた中央嵌凸部23aと、該中央嵌凸部の両側に形成された両側嵌溝24a、24aとから構成され、第二嵌合部22bが壁部の長手方向はほぼ中央に形成された中央嵌溝23bと、該中央嵌溝の両側に設けられた両側嵌凸部24b、24bとから構成され、

第一嵌合部22aの中央嵌凸部23aが第二嵌合部22bの中央嵌溝23bに嵌着自在とされ、第二嵌合部22bの両側嵌凸部24b、24bが第一嵌合部22aの両側嵌溝24a、24aに嵌着自在とされるように構成して成ることを特徴とする請求項2に記載の紙バック廃品利用容器における開口縁の額縁装置。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えば牛乳やジュース等の飲料容器として使用されている紙バックを飲料消費後に裁頭切断することにより、紙バックの廃品から形成された紙容器において、該紙容器の前記切断により形成された開口縁に装着される額縁装置を提供するものであり、これにより紙容器を種々の小物入れとして利用せしめることを目的とする。

【0002】

【従来の技術】近年、牛乳やジュース等の飲料容器には紙バックが多用されており、家庭における消費量も膨大な量に及んでいる。

【0003】そこで、飲料消費後に廃棄される紙バックの量も相当数に及ぶため、これを廃品利用することにより、資源の有効利用と、廃棄ゴミの低減化を図ることが望ましい。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】紙バックは、底壁上に周方向4面の側壁から成る周壁を備えたほぼ四角柱状に構成され、比較的強靱な紙素材により形成されているから、これを有効利用するためには、紙バックを裁頭切断することにより上部開口状の紙容器を形成し、これを種々の小物入れとして利用するのが好ましい。例えば、このようにして形成した紙容器は、鉛筆等の筆記具や、家庭電気製品のリモコン装置や、マヨネーズ等のチューブ類等の小物品を立てた状態で収納するスタンドとして利用することができる。また、塵入れ等のダストボックスとしても利用できる。更に、その他の種々の小物品を収納するボックスとして利用できる。

【0005】ところで、紙バックの裁頭切断のみにより形成した紙容器は、装飾的な趣味感に乏しく、机の上に置いて利用するには余りにも味気ない。また、比較的強靱な紙素材により形成されたものではあるが、保形性に乏しく、特に、切断端に形成された開口縁が脆弱であり、小物入れとしての使用に耐え得ない。

【0006】更に、飲料容器としての紙バックは所定の大きさに形成されており、比較的小さいため、紙バックから形成した紙容器も比較的小さいものとなり、個々の使用に際して、不便を生じることがある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記課題を解決した紙バック廃品利用容器における開口縁の額縁装置を提供するものである。

【0008】そこで、本発明が第一の手段として構成したところは、底壁上に周方向4面の側壁から成る周壁を備えた紙バックを縦頭切断することにより、紙バックの廃品から形成した紙容器において、該紙容器の前記切断により形成された開口縁に装着される額縁装置であり、額縁装置は、外枠体と、内枠体とから構成されており、外枠体は、紙容器の開口縁を上方から覆う頂壁と、紙容器の開口縁の外周面に沿わしめられる外周壁とを一体に備え、内枠体は、紙容器の開口縁の内周面に沿わしめられる内周壁を備え、内枠体の内周壁と外枠体の外周壁とにより紙容器の開口縁を内外から挟持して成り、外枠体の外周壁は、紙容器の開口縁を含む周壁を構成する4面の側壁に対応する4面の壁部を有し、各壁部の内側面に、紙容器の開口縁に密着する平坦面と、該平坦面よりも壁部の内厚方向に凹入する凹入部を設けて成る点にある。

【0009】また、本発明が第二の手段として構成したところは、底壁上に周方向4面の側壁から成る周壁を備えた紙バックを縦頭切断することにより、紙バックの廃品から形成した紙容器において、該紙容器の前記切断により形成された開口縁に装着される額縁装置であり、額縁装置は、外枠体と、内枠体とから構成されており、外枠体は、紙容器の開口縁を上方から覆う頂壁と、紙容器の開口縁の外周面に沿わしめられる外周壁とを一体に備え、内枠体は、紙容器の開口縁の内周面に沿わしめられる内周壁を備え、内枠体の内周壁と外枠体の外周壁とにより紙容器の開口縁を内外から挟持して成り、外枠体の外周壁は、紙容器の開口縁を含む周壁を構成する4面の側壁に対応する4面の壁部を有し、相対向する一対の壁部における一方の壁部の第一嵌合部が他方の壁部の第二嵌合部に着脱自在に嵌着されるように、相対向する一対の壁部の外面に第一嵌合部と第二嵌合部を相互に設けて成る点にある。

【0010】本発明の好ましい実施形態において、第一嵌合部は、壁部の長手方向ほぼ中央に設けられた中央嵌合凸部と、該中央嵌合凸部の両側に形成された同側嵌溝とから構成され、第二嵌合部は、壁部の長手方向ほぼ中央に形成された中央嵌溝と、該中央嵌溝の両側に設けられた同側嵌凸部とから構成されている。そして、第一嵌合部の中央嵌合凸部が第二嵌合部の中央嵌溝に嵌着自在とされ、第二嵌合部の同側嵌凸部が第一嵌合部の同側嵌溝に嵌着自在とされるように構成されている。

【0011】

【発明の実施形態】以下図面に基づいて本発明の好ましい実施形態を詳述する。

【0012】（紙バック利用の紙容器）牛乳やジュース等の飲料容器として使用されている紙バック1は、図1（A）に示すように、底壁2に周方向4面の側壁3から成る周壁4を立設したほぼ四角柱状に構成されており、飲料容器として消費者に提供されるまでは上部に開放可

能な密閉シール部5を設けている。周知のように、密閉シール部5は、引き離し動作により開放可能であり、消費者が内部の飲料を消費した後、紙バック1は廃品とされる。

【0013】そこで、廃品となった紙バック1は、縦頭切断、即ち、密閉シール部5を含む頭部を切断することにより、図1（B）に示すような紙容器6として利用することができる。図例の場合、鉛筆等の小物品7を立てた状態で収納するスタンドとして利用した例を示しているが、これに限定されるものではない。尚、紙容器6は、底壁2に周方向4面の側壁3から成る周壁4を立設したほぼ四角柱状に構成され、上部に前記切断により形成された開口縁8を備えている。

【0014】（額縁装置）図2ないし図4に額縁装置の1実施形態を示しており、額縁装置9は、紙容器6の開口縁8に装着される。

【0015】図2（A）に示すように、額縁装置9は、それぞれ合成樹脂により一体成形された外枠体10と、内枠体11とから構成されている。

【0016】外枠体10は、紙容器6の開口縁8を上方から覆う頂壁12と、紙容器6の開口縁8の外周面に沿わしめられる外周壁13とを一体に備えている。内枠体11は、紙容器6の開口縁8の内周面に沿わしめられる内周壁14と、該内周壁14の頂部に沿って形成されたフランジ15とを一体に備えている。これにより、額縁装置9は、内枠体11の内周壁14と外枠体10の外周壁13とにより紙容器6の開口縁8を内外から挟持するように構成されている。

【0017】内枠体11の内周壁14は、紙容器6の開口縁8を含む周壁4を構成する4面の側壁3に対応する4面の壁部16a、16b、16c、16dを有しており、4面の壁部16の各コーナー部分から下方に垂下する断面L形のコーナー脚片17を一体に延設している。また、4面の壁部16に対応して延びるフランジ15は、各辺の長手方向ほぼ中央に位置して外向きに張り出す突片18を一体に備えている。

【0018】外枠体10の頂壁12は、各コーナー部分に位置して内周壁から下向きに折曲された返り片19を一体に備えており、内枠体11のフランジ15を頂壁12の下面に重ね合わせるとき、該フランジ15を返り片19と外周壁13の間に保持する構成とされている。この際、外周壁13の内面には係止リブ20が一体に設けられており、フランジ15の突片18を嵌着せしめる。

【0019】図2及び図3に示すように、外枠体10の外周壁13は、紙容器6の開口縁8を含む周壁4を構成する4面の側壁3に対応する4面の壁部21a、21b、21c、21dを有しており、従って、一組の相対向する一対の壁部21a及び21bと、別の一組の相対向する一対の壁部21c及び21dを構成する。そして、各組を成す一対の壁部21a及び21b、21c及

び21dのうち、それぞれの一方の壁部21a、21cの外面に第一嵌合部22aを設け、他方の壁部21b、21dの外面に第二嵌合部22bを設けている。

【0020】一方の壁部21a、21cに設けられた第一嵌合部22aは、該壁部の長手方向ほぼ中央に設けられた中央隆凸部23aと、該中央隆凸部23aの両側に形成された両側隆溝24a、24aとから構成されている。これに対して、他方の壁部21b、21dに設けられた第二嵌合部22bは、該壁部の長手方向ほぼ中央に形成された中央隆溝23bと、該中央隆溝23bの両側に形成された両側隆凸部24b、24bとから構成されている。

【0021】従って、複数の額縁装置9を並列しておけば、図3(B)及び図4に示すように、二つの額縁装置9の間において、第一嵌合部22aの中央隆凸部23aと第二嵌合部22bの中央隆溝23bを相互に着脱自在に嵌着することができ、第一嵌合部22aの両側隆溝24a、24aと第二嵌合部22bの両側隆凸部24b、24bを相互に着脱自在に嵌着することができるので、これにより、複数の額縁装置9における外枠体10を縦横に連結することが可能である。

【0022】更に、外枠体10の外周壁13を構成する壁部21a、21b、21c、21dは、各壁部の内側面に、紙容器6の開口縁8に密接する平坦面25と、該平坦面25よりも該壁部の内厚方向に凹入する凹入部26を形成している。即ち、第一嵌合部22aを設けた壁部21a、21cにおいては、中央隆凸部23aに対応する内側面に凹入部26aを形成し、両側隆溝24a、24aに対応する内側面に平坦面25a、25aを形成している。また、第二嵌合部22bを設けた壁部21b、21dにおいては、中央隆溝23bに対応する内側面に平坦面25bを形成し、両側隆凸部24b、24bに対応する内側面に凹入部26b、26bを形成している。

【0023】上記構成の額縁装置9は、外枠体10に対して下方から内枠体11を挿入し、フランジ15の突片18を係止リブ20に嵌着係止せしめれば、外枠体10と内枠体11が組付一体化され、外枠体10の外周壁13における平坦面25a、25bと、内枠体11の内周壁14との間に微小な隙間を形成する。そこで、この微小な隙間に対して、紙容器6の開口縁8を圧入すれば、該開口縁8が外周壁13と内周壁14の間に挟持状態で保持される。圧入に際しては、紙容器6の開口縁8がコーナー部分を内枠体11のコーナー剛片17に沿ってガイドされながら前述の微小な隙間に進入する。この際、紙容器6の開口縁8が呈する矩形環状の形状と、微小な隙間が呈する矩形環状の形状は、相互に完全に同一形状・同一形状でない場合が多く、通常は前者の寸法が後者の寸法よりも大きい。紙容器6の開口縁8を挟ませないと微小な隙間に進入しない場合があるが、各壁部2

1a、21b、21c、21dに位置して微小な隙間に凹入部26a、26bが臨んでいるので、挟ませた開口縁8を凹入部26a、26bにより吸収せしめることができ、これにより開口縁8を微小な隙間に好適に進入せしめ、開口縁8を外周壁13の平坦面25a、25bと内周壁14との間に圧入し保持せしめることができる。従って、これにより、額縁装置9は、紙容器6の開口縁8に固定され、例えば、額縁装置9を簡易して紙容器6を持ち上げる場合でも、額縁装置9から紙容器6が脱落するようなことはない。

【0024】上述のように額縁装置9を紙容器6に取付ける際、予め外枠体10と内枠体11を組付一体化した後、外周壁13と内周壁14の間に紙容器6の開口縁8を圧入しても良いが、外枠体10と内枠体11を分離した状態で、まず、内枠体11を紙容器6の開口縁8に挿入せしめ、フランジ15を開口縁8に載置した状態で、次いで、外枠体10を紙容器6の開口縁8の外周に沿って下降せしめ、係止リブ20を突片18に嵌着係止することにより、紙容器6の開口縁8を挟んで外枠体10と内枠体11を組付一体化しても良い。この場合においても、外枠体10の外周壁13における平坦面25a、25bが紙容器6の開口縁8に密接して該開口縁8を挟ませながら環を生じる場合があるが、挟みにより生じる環を凹入部26a、26bにより吸収せしめることができる。

【0025】このようにして額縁装置9を取付けられた紙容器6は、上述のような小物入れとして利用されるが、図3(B)及び図4に示すように、紙容器6の複数の額縁装置9を介して縦横に連結することが可能である。即ち、図3(B)及び図4に示すように、隣接する二つの紙容器6、6の額縁装置9、9の間において、第一嵌合部22aと第二嵌合部22bを向かい合わせると共に、上下に位置をずらせた状態から隆凸部と隆溝を嵌合させながら相互に同一高さとなるように移動せしめると、第一嵌合部22aの中央隆凸部23aと第二嵌合部22bの中央隆溝23bが嵌着され、第一嵌合部22aの両側隆溝24a、24aと第二嵌合部22bの両側隆凸部24b、24bが嵌着される。尚、嵌着後、連結された二つの紙容器6、6の額縁装置9、9を上下に位置がずれるように移動すれば、第一嵌合部22aと第二嵌合部22bが外れ、額縁装置9、9の連結を解除する。

【0026】

【発明の効果】本発明によれば、紙バック1を裁断切断することにより上部開口状の紙容器6を形成し、これを種々の小物入れとして利用するに際し、開口縁8に額縁装置9を取付けることにより、紙バックの廃品利用でありながら装飾的な趣味感に優れた小物入れを提供することができる。

【0027】しかも、紙バックの廃品利用として形成した紙容器6は、保形性に乏しく、特に、切断端に形成さ

れた開口縁8が脆弱である点に關して、本発明によれば、額縁装置9により開口縁8を堅牢に補強できるので、乱暴な取扱いにも十分に耐える小物入れとして好適に使用できる。

【0028】そして、請求項1に記載の本発明によれば、内枠体11の内周壁14と外枠体10の外周壁13とにより紙容器6の開口縁8を内外から挟持し保持する構成において、外周壁13を構成する壁部21a、21b、21c、21dに凹入部26a、26bを形成して

るので、挟持される開口縁8が挟んで皺を生じるような場合でも、該挟みや皺を凹入部26a、26bにより好適に吸収せしめることができる。従って、これにより開口縁8を内周壁14の外側面と外周壁13の平坦面25a、25bの間において密に挟持保持せしめる構成が可能となり、紙容器6の開口縁8に対して額縁装置9を脱着しないように堅固に取付け固定することができる。

【0029】また、請求項2に記載の本発明によれば、各組を成して相対向する一対の壁部21a及び21bと21c及び21dのうち、それぞれ一方の壁部21a、21cの外面に第一嵌合部22aを設け、他方の壁部21b、21dの外面に第二嵌合部22bを設け、第一嵌合部22aと第二嵌合部22bを相互に着脱自在に嵌合できるように構成している。額縁装置9を取付けた紙容器6の複数個を、額縁装置9を介して縦横に連結することが可能となり、小物入れとしての紙容器6の利用範囲を広げることができる。

【0030】この際、請求項3に記載の発明によれば、一方の壁部21a、21cに設けられた第一嵌合部22aを、該壁部の長手方向ほぼ中央に設けられた中央端凸部23aと、該中央端凸部23aの両側に形成された両側端溝24a、24aとから構成し、これに対して、他方の壁部21b、21dに設けられた第二嵌合部22bを、該壁部の長手方向ほぼ中央に形成された中央端溝23bと、該中央端溝23bの両側に形成された両側端凸部24b、24bとから構成している。額縁装置9を取付けた紙容器6の複数個を連結するに際し、隣接する二つの額縁装置9、9を、第一嵌合部22aと第二嵌合部22bを向かい合わせ、上下に位置をずらせた状態から端凸部と端溝を嵌合させながら相互に同一高さとなるように移動せしめただけで良く、連結作業が極めて容易であり、しかも、連結状態が極めて強固である。また、連結を解除するに際しても、単に二つの額縁装置9、9を上下に位置ずれずるように移動するだけで足り、作業が容易である。

【0031】更に、図示実施形態のように、内枠体11

にコーナー脚片17を設けておけば、紙容器6の開口縁8のガイドとして利用できる他、紙容器6の周壁4のコーナー部分を補強することができ、紙容器6の保形性を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】(A)は従来公知の紙バックを示す斜視図であり、(B)は紙バックの廃品を縦頭切断することにより形成した紙容器を示す斜視図である。

【図2】本発明の1実施形態に係る額縁装置を示しており、(A)は外枠体と内枠体を分離した状態で示す斜視図、(B)は紙容器に額縁装置を取付けた状態を示す斜視図である。

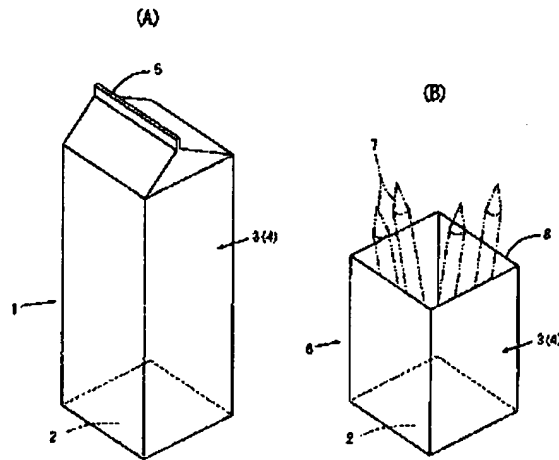
【図3】本発明の1実施形態に係る額縁装置を取付けた紙容器を示しており、(A)はA-A線断面図、(B)はB-B線断面図である。

【図4】本発明の1実施形態に係る額縁装置を取付けた紙容器の複数個を相互に連結した状態を示す斜視図である。

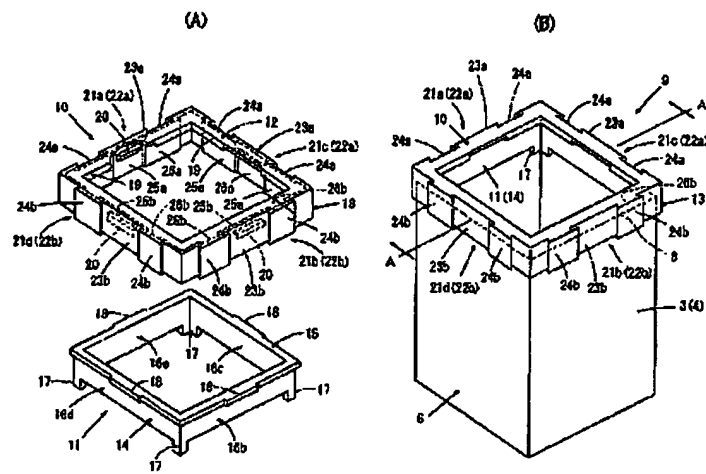
【符号の説明】

- |                 |        |
|-----------------|--------|
| 1               | 紙バック   |
| 3               | 側壁     |
| 4               | 周壁     |
| 6               | 紙容器    |
| 8               | 開口縁    |
| 9               | 額縁装置   |
| 10              | 外枠体    |
| 11              | 内枠体    |
| 12              | 頂壁     |
| 13              | 外周壁    |
| 14              | 内周壁    |
| 15              | フランジ   |
| 16a、16b、16c、16d | 壁部     |
| 17              | コーナー脚片 |
| 18              | 突片     |
| 19              | 返り片    |
| 20              | 係止リブ   |
| 21a、21b、21c、21d | 壁部     |
| 22a             | 第一嵌合部  |
| 22b             | 第二嵌合部  |
| 23a             | 中央端凸部  |
| 23b             | 中央端溝   |
| 24a             | 両側端溝   |
| 24b             | 両側端凸部  |
| 25a、25b         | 平坦面    |
| 26a、26b         | 凹入部    |

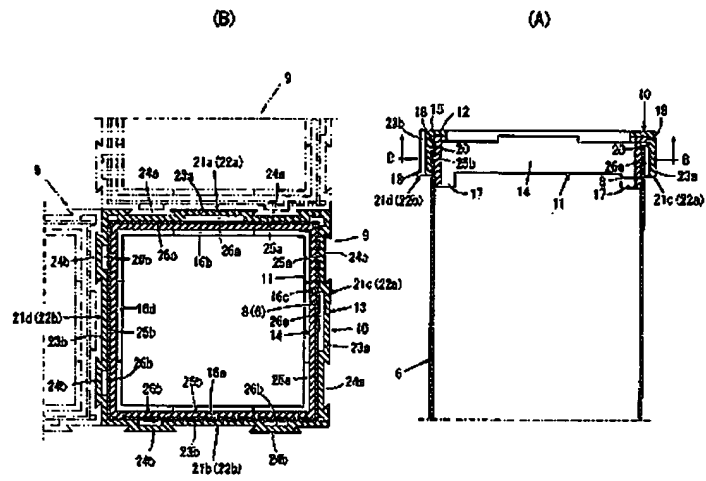
【図1】



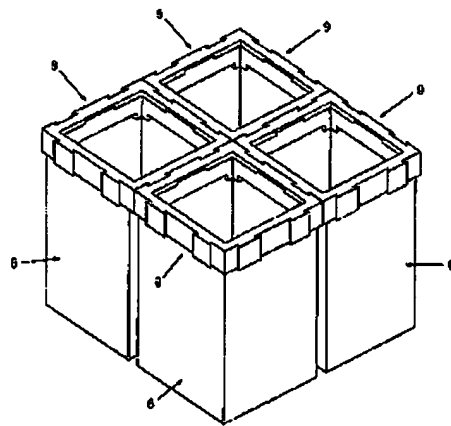
【図2】



【図3】



【図4】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**